



平成 26 年 4 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 丸 和 運 輸 機 関
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 和 佐 見 勝
(コード番号 : 9090 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 管理統括本部副本部長
兼総合企画本部長 河 田 和 美
(TEL. 048-991-1000)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 4 月 8 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成 26 年 3 月期の実績見込み及び平成 27 年 3 月期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては、別添のとおりであります。

【連結】

(単位: 百万円・%)

項目 \ 決算期	平成 27 年 3 月期 (予想)			平成 26 年 3 月期 (実績見込み)			平成 26 年 3 月期 第 3 四半期累計 期間 (実績)		平成 25 年 3 月期 (実績)	
		構成比	対前期 増減率		構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高	53,329	100.0	5.5	50,562	100.0	4.7	38,611	100.0	48,291	100.0
営 業 利 益	2,885	5.4	5.5	2,735	5.4	△17.7	2,290	5.9	3,324	6.9
経 常 利 益	2,858	5.4	4.3	2,741	5.4	△15.4	2,321	6.0	3,240	6.7
当期(四半期)純利益	1,670	3.1	8.0	1,545	3.1	△16.6	1,173	3.0	1,852	3.8
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	448 円 89 銭			493 円 79 銭			374 円 83 銭		610 円 97 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	(注) 2			100 円 00 銭			—		100 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 25 年 3 月期 (実績) 及び平成 26 年 3 月期第 3 四半期累計期間 (実績) 並びに平成 26 年 3 月期 (実績見込み) の 1 株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出し、平成 27 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数 (600,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当分 (最大 120,000 株) は考慮しておりません。
2. 当社は株主各位に対する利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置づけしており、平成 27 年 3 月期 (予想) において配当を予定しておりますが、具体的な配当金については現時点では未定です。



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社丸和運輸機関
 コード番号 9090
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員
 四半期報告書提出予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

平成 26年 4月 8日
 上場取引所 東
 URL <http://www.momotaro.co.jp/>
 (氏名) 和佐見 勝
 (氏名) 河田 和美 (TEL) 048(991)1000
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	38,611	—	2,290	—	2,321	—	1,173	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,221百万円(—%) 25年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	374.83	—
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 平成25年3月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、平成25年3月期第3四半期に係る記載及び同期間との比較は行っておりません。

2. 平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握出来ませんので、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,540	9,203	28.3
25年3月期	31,293	8,295	26.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,203百万円 25年3月期 8,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,562	4.7	2,735	△17.7	2,741	△15.4	1,545	△16.6	493.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	3,130,660株	25年3月期	3,130,660株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	3,130,660株	25年3月期3Q	3,030,660株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府と日銀による積極的な経済対策や金融緩和策を背景に、株価の回復や円安による輸出環境の改善等、景気回復に向けた兆しが見受けられました。しかしながら、原材料価格の高騰や消費増税に対する先行き不安感から、個人消費を押上げるまでには至らず、依然として厳しい状況で推移しております。

物流業界におきましては、消費増税による駆け込み需要に伴う建設関連貨物の増加等、比較的堅調な国内需要を背景に国内貨物輸送量は一部で回復傾向がみられました。その一方で円安の影響を受けた燃料調達単価の高騰や同業者間の価格競争、顧客の物流費抑制等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、スーパーマーケットを中心とした低温食品物流の分野に経営資源を集中投下し、積極的な物流サービスの提案営業を推進してまいりました。また、顧客の物流サービス向上と更なる効率化を目指した大型物流拠点の開設等、事業基盤の強化に努めました。その結果、当社グループの第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高386億11百万円、営業利益22億90百万円、経常利益23億21百万円、四半期純利益11億73百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① 物流事業

物流事業では、前連結会計年度内において物流センターの稼働を開始した低温食品関連顧客や、取引範囲の拡大をした医薬品関連の業務が業績に寄与致しました。また、第3四半期において新たに受託した二拠点の物流センターが稼働を開始し、順次業績に寄与致しました。

しかし、新規業務開始に伴う初期費用の増加や一部拠点における物流現場改善の遅れ等により、売上高は381億円、セグメント利益（営業利益）は21億83百万円となりました。

② その他

文書保管業務におきましては、前連結会計年度に計上した先行投資費用が減少し、また、不動産賃貸業務におきましては、業績が順調に推移した結果、売上高は5億11百万円、セグメント利益（営業利益）は1億5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は325億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億47百万円増加いたしました。流動資産は141億24百万円となり、4億35百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が3億88百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が8億11百万円増加したこと等であります。また、固定資産は184億15百万円となり、8億12百万円増加いたしました。この主な要因は、新規物流センターの開設等によりリース資産が4億82百万円増加したこと等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は233億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円増加いたしました。流動負債は115億5百万円となり、1億27百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が8億14百万円増加した一方、短期借入金が6億30百万円、未払法人税等が3億53百万円減少したこと等であります。また、固定負債は118億32百万円となり、4億66百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は92億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が8億60百万円増加したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、金融財政政策による円高の是正にともなう企業収益の改善、所得増加期待を背景に、景気は緩やかな回復傾向が見受けられましたが、個人消費を押し上げるまでには至らず、物流業界におきましても、燃料価格の高騰や物流業者間の価格競争など、依然として厳しい状況が続いております。

しかし、このような状況の中、当社グループは昨年9月に大型物流センターを開設いたしました。また、新規顧客開拓につきましては、低温食品物流の分野に経営資源を集中投下することにより、他社との差別化を図る物流サービスの提供に取り組んでおります。

以上の結果、平成26年3月期連結業績は、売上高505億62百万円（前連結会計年度比4.7%増）、営業利益27億35百万円（同17.7%減）、経常利益27億41百万円（同15.4%減）、当期純利益15億45百万円（同16.6%減）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,137,352	6,749,289
受取手形及び売掛金	5,934,820	6,745,947
貯蔵品	25,599	28,624
その他	595,538	605,466
貸倒引当金	△ 3,876	△ 4,466
流動資産合計	13,689,433	14,124,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,570,330	6,414,301
機械装置及び運搬具（純額）	168,499	149,322
土地	5,905,372	5,900,270
その他（純額）	1,691,479	2,362,378
有形固定資産合計	14,335,681	14,826,272
無形固定資産	830,038	823,967
投資その他の資産		
その他	2,482,006	2,801,505
貸倒引当金	△ 44,092	△ 35,877
投資その他の資産合計	2,437,913	2,765,628
固定資産合計	17,603,633	18,415,868
資産合計	31,293,067	32,540,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,611,538	4,425,796
1年内返済予定の長期借入金	3,222,027	3,260,215
未払法人税等	797,725	444,132
賞与引当金	392,123	184,007
訴訟損失引当金	28,800	5,643
その他	3,580,196	3,185,551
流動負債合計	11,632,410	11,505,346
固定負債		
社債	895,000	642,500
長期借入金	7,049,104	7,350,390
退職給付引当金	630,413	668,531
資産除去債務	179,279	196,202
その他	2,611,666	2,974,609
固定負債合計	11,365,462	11,832,233
負債合計	22,997,873	23,337,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,604	1,108,604
資本剰余金	623,026	623,026
利益剰余金	6,466,580	7,326,965
株主資本合計	8,198,210	9,058,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,983	144,553
その他の包括利益累計額合計	96,983	144,553
純資産合計	8,295,193	9,203,149
負債純資産合計	31,293,067	32,540,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	38,611,487
売上原価	34,074,711
売上総利益	4,536,775
販売費及び一般管理費	2,246,720
営業利益	2,290,055
営業外収益	
受取利息	3,367
受取配当金	21,629
受取保険金	45,945
負ののれん償却額	5,097
固定資産売却益	42,115
その他	72,655
営業外収益合計	190,811
営業外費用	
支払利息	138,466
その他	20,763
営業外費用合計	159,230
経常利益	2,321,636
特別損失	
減損損失	5,102
特別損失合計	5,102
税金等調整前四半期純利益	2,316,534
法人税等	1,143,083
少数株主損益調整前四半期純利益	1,173,450
少数株主利益	—
四半期純利益	1,173,450

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,173,450
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	47,570
その他の包括利益合計	47,570
四半期包括利益	1,221,021
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,222,021
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	38,100,428	511,059	38,611,487	—	38,611,487
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,612	294,389	369,001	△ 369,001	—
計	38,175,040	805,448	38,980,488	△ 369,001	38,611,487
セグメント利益	2,183,911	105,575	2,289,486	568	2,290,055

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品保管庫の賃貸事業、不動産賃貸事業及びレストラン事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。